

- 経理上手くんα DX VERSION:14.203
- 経理上手くんαクラウド DX・経理上手くんαクラウド SE DX VERSION:14.203

当プログラムは、マイクロソフト社のサポート対応終了に伴い、Windows XP・Vista・7・8.1 搭載機へのインストールは不可となっています。

◆ 登録・入力

➢ 仕訳入力

- ・カード読取、通帳読取にてファイル読取後、「読取データの転記欄チェックを ON にする」を設定していても、決算期間外のデータがあった場合には、転記チェックを OFF とするように対応しました。
- ・原票表示入力中にユーザーの指定で一括して転記チェックが外せるように対応しました。

➢ 元帳検索

- ・[F11 貸借修正] を行っている際に、入力済みの摘要を範囲指定した状態で修正した場合、範囲指定した部分に上書きするように変更しました。

➢ 残高問い合わせ

- ・新規会社登録・修正・削除で決算修正処理を「行わない」に設定しているマスターにて、残高問い合わせで最終月を選択すると、青色申告控除税額を表示するように対応しました。

◆ 工事台帳（建設上手くんαPro IIのみ）

➢ 工事登録

- ・未成工事で、契約日より以前の日付を完成日に入力した場合などのメッセージを変更しました。

◆ その他の改良、修正を行いました。

※詳細は、次ページからの“財務処理 d b（VERSION: 14.203）の変更点”を参照してください。

ご注意

- 他のICSシステムとマスターのやり取りを行われる場合は、他のICSシステム側も当改正対応プログラムのインストールを行い、バージョンを統一してください。

財務処理 d b (VERSION:14.203) の変更点

改良

I. 登録・入力

1) 仕訳入力

①カード読取、通帳読取にてファイル読取後、「読取データの転記欄チェックを ON にする」を設定していても、決算期間外のデータがあった場合には、転記チェックを OFF とするように対応しました。日付が空欄の行は、従来と同様にチェック ON の状態となります。
※再認識時も同様の対応を行っています。

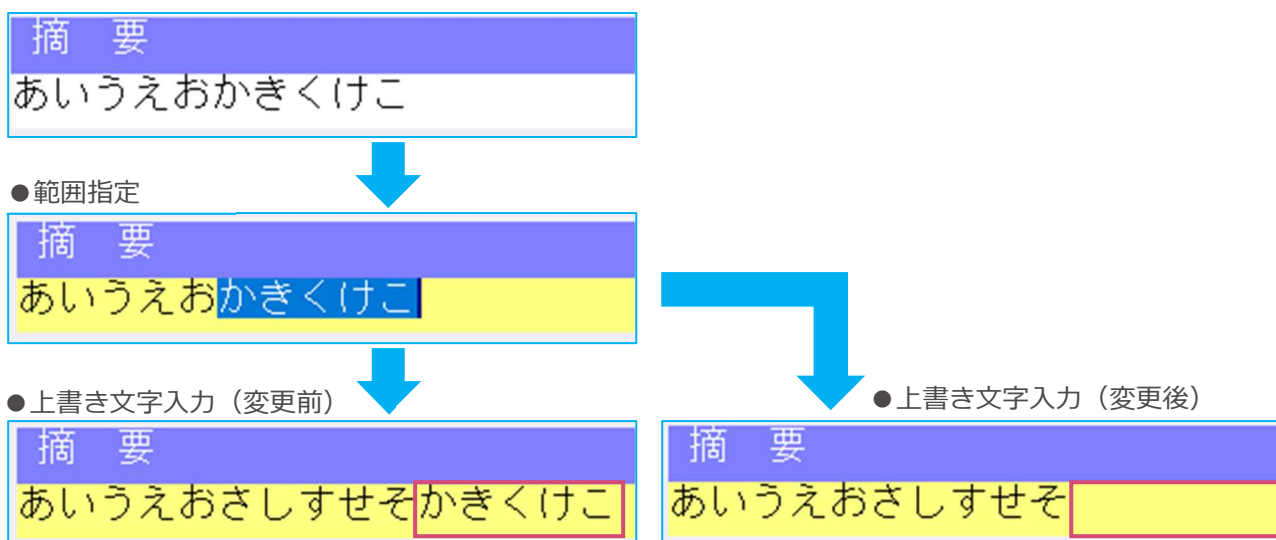
②原票表示入力時にユーザーの指定で一括して転記チェックが外せるように対応しました。転記チェック欄を範囲指定し、スペースキーで ON/OFF の切り替えを行うことができます。
※対象は証憑・カード明細・通帳となっています。
※証憑読取は電帳法対応オプションをご契約のみ利用可能です。

2) 元帳検索

① [F11 貸借修正] を行っている際に、入力済みの摘要を範囲指定した状態で修正した場合、範囲指定した部分が上書きするように変更しました。

《例》

「あいうえおかきくけこ」と入力している状態で、「かきくけこ」を範囲指定し「さしすせそ」と入力を行った場合。



3) 残高問い合わせ

①新規会社登録・修正・削除で決算修正処理を「行わない」に設定しているマスターにて、残高問い合わせで最終月を選択すると、青色申告控除税額を表示するように対応しました。上記対応に伴い、青色特別控除後所得金額の計算も青色申告控除税額を集計するようになりました。

《対応タブ》

- ・残高タブ
- ・損益タブ
- ・比較残高タブ
- ・比較損益タブ

※決算修正処理を「行う (四半期決算)」、「行う(半期決算)」、「行う(期末決算)」のいずれかに設定している場合は、従来通り最終月を選択しても青色申告控除額の表示は行いません。

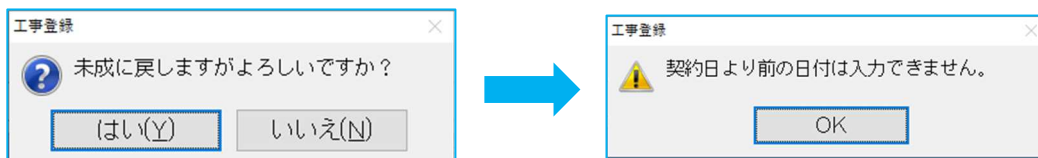
II. 工事台帳

1) 工事登録

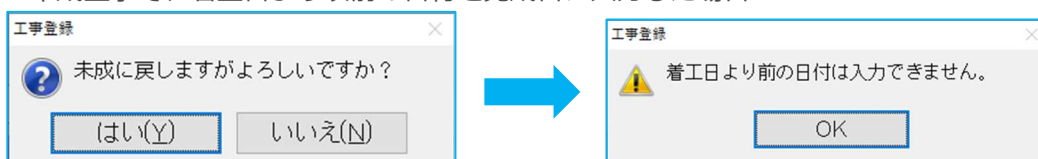
①未成工事で、契約日より以前の日付を完成日に入力した場合などのメッセージを、下記のように変更しました。

《変更項目》

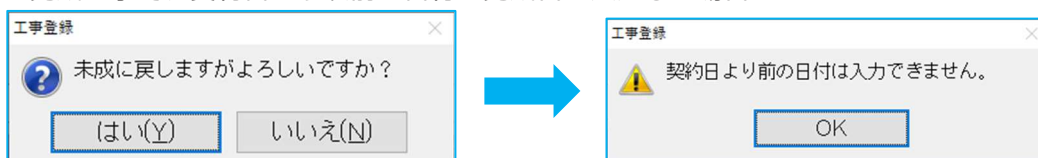
・未成工事で、契約日より以前の日付を完成日に入力した場合



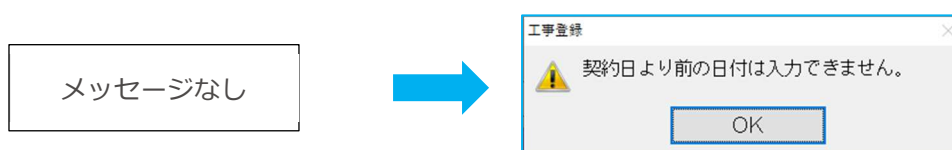
・未成工事で、着工日より以前の日付を完成日に入力した場合



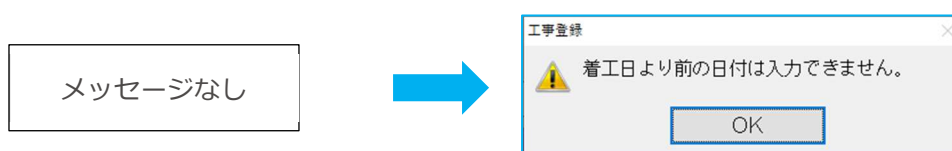
・完成工事で、契約日より以前の日付を完成日に入力した場合



・契約日より以前の日付を完成予定日に入力した場合



・着工日より以前の日付を完成予定日に入力した場合



修正

I. 導入・更新

1) 翌期更新

①期末が令和5年10月1日以降（インボイス以降）で、経理処理「税抜処理」、処理タイプ「未成工事支出金(課税対象外) 特例タイプ」、配賦方法「原価別」を選択している建設マスターで、翌期更新（前年度からの更新）を行うと、下記の現象が発生していた為、修正を行いました。

《現象》

- (1)工事登録の工種金額情報の前月残高が前年残高と不一致になっていました。
また、上記の金額不一致の状態、完成工事振替処理を行った時に、本来の金額より多い消費税の仕訳が作成されていました。
- (2)「基本設定に従って振替」の期首残に金額がある状態で翌期更新（前年度からの更新）を行うと、「基本設定に従って振替」に発生していた分の税額を計算せずに期首残の計算を行ってしまい、更新後にマイナスの税額のみ発生する現象が起きていました。
※こちらの現象は経理処理「税込処理」を選択している場合でも発生していました。

《注意》

(1)インボイス対応以降に翌期更新を行っているマスターについては、下記の条件に該当する場合、修正プログラムをインストールしたうえで、「前年度からの更新」を行っていただきますようお願いいたします。

- マスター条件
 - ・ 未成工事支出金（課税対象外）特例 を使用されている。
 - ・ 経理処理「税込処理 または 税抜処理」を使用されている。
 - ・ 配賦処理「原価別」を使用されている。
 - ・ 工事残高登録業務にて、期首の「基本設定に従って振替」に金額が入っている。

II. 登録・入力

1) 残高問い合わせ

①枝番を設定している未確定科目に残高がある状態で、残高問い合わせで枝番表示を行っても表示されなかったのを修正しました。

※個人業種（標準科目体系）または法人業種（個人事業）のみ発生していました。

部門残高がある場合の部門表示、部門枝番残高がある場合の部門枝番表示でも同様の現象が発生しましたので、修正を行っています。

2) 変動計算書・変動事由&残高登録

①下記の設定で Excel 出力を行った際に、出力箇所がズレていたのを修正しました。

《設定》

- ・ 用紙選択 B4
- ・ 年度指定 当期
- ・ 月指定 期末決算
- ・ 帳票形式 縦型・前年対比
- ・ 詳細項目設定 会社名を出力する ON

《現象》

- ・ 前期/当期の文言が左側に寄っている。
- ・ 「その他利益剰余金」が左側に寄っている。

III. 出力（DX・Pro IIのみ）

1) 総勘定元帳（経理上手くんαは登録・入力 指定元帳）

①下記のように設定した場合、摘要が正しく出力されない場合があったのを修正しました。

《パターン 1》

●条件

- ・ 形式：A4 版
- ・ [F7 出力書式（書式 1）] 月計出力後の行あけ：チェック ON
- ・ [F7 出力書式（書式 2）] 摘要の文字サイズ：全角文字
- ・ [F7 出力書式（書式 2）] 次行の追加出力選択：摘要（出力欄超過分）
- ・ 次行に出力される摘要欄の文字数が 1～2 文字

●現象

次行に出力されるべき摘要が、○月計の下行に表示されていました。

10.	1	売 上 高 1		内10	10,000
			※※	10月計	※※
					10,000
11.	1	売 上 高 1	あいうえおかきくけこさしすせそたち つてとなにぬねのはひふへほまみむめ	内10	20,000
			※※	11月計	※※
					20,000
			も		

《パターン 2》

●条件

- ・形式：A4 版
- ・ [F7 出力書式（書式 1）] 月計出力後の行あけ：チェック OFF
- ・ [F7 出力書式（書式 2）] 摘要の文字サイズ：全角文字
- ・ [F7 出力書式（書式 2）] 次行の追加出力選択：摘要（出力欄超過分）
- ・ 次行に出力される摘要欄の文字数が 1～2 文字

●現象

プレビュー → 閉じる → プレビューと操作すると、次行に出力されるべき摘要が 1 か月前の先頭行に表示されていました。

10. 1	売上高	1	も	内10	10,000
			※※ 10月計 ※※		10,000
11. 1	売上高	1	あいうえおかきくけこさし つてとなにぬねのはひふへほまみむめ	内10	20,000
			※※ 11月計 ※※		20,000
			翌期への繰越		30,000

《パターン 3》

●条件

- ・形式：B4 版
- ・ [F7 出力書式（書式 1）] 月計出力後の行あけ：チェック ON
- ・ [F7 出力書式（書式 2）] 摘要の文字サイズ：全角文字
- ・ [F7 出力書式（書式 2）] 次行の追加出力選択：摘要（出力欄超過分）
- ・ 次行に出力される摘要欄の文字数が 1～3 文字

●現象

次行に出力されるべき摘要が、○月計の下行に表示されていました。

10. 1	売上高	1		内10	10,000
			※※ 10月計 ※※		10,000
11. 1	売上高	1	あいうえおかきくけこさし すせそたちつてとなにぬね	内10	20,000
			※※ 11月計 ※※		20,000
			の		

《パターン 4》

●条件

- ・形式：B4 版
- ・ [F7 出力書式（書式 1）] 月計出力後の行あけ：チェック OFF
- ・ [F7 出力書式（書式 2）] 摘要の文字サイズ：全角文字
- ・ [F7 出力書式（書式 2）] 次行の追加出力選択：摘要（出力欄超過分）
- ・ 次行に出力される摘要欄の文字数が 1～3 文字

●現象

プレビュー → 閉じる → プレビューと操作すると、次行に出力されるべき摘要が 1 か月前の先頭行に表示されていました。

10. 1	売上高	1	の	内10	10,000
			※※ 10月計 ※※		10,000
11. 1	売上高	1	あいうえおかきくけこさし すせそたちつてとなにぬね	内10	20,000
			※※ 11月計 ※※		20,000
			翌期への繰越		30,000

2) 消費税元帳

①下記条件の場合に、一部の消費税額が正しく表示されなかったのを修正しました。

《条件》

- ・決算期間の期末が令和5年10月1日以降
- ・経理方式：一括税抜き（月単位）
- ・税額計算：割戻し計算
- ・別記仕訳の下に課税の仕訳が存在する。

《例》

●下記のように仕訳を入力した状態で消費税元帳を出力。

1	01.01		現 金	売 上 高 1	220,000	20,000	内10
2	12.01		現 金	売 上 高 1	330,000	30,000	内10
3	12.31		現 金	売 上 高 1	440,000	40,000	内10
4	12/31		現 金	仮受 消費税等	50,000		10積算
5	12/31		現 金	売 上 高 1	110,000	10,000	内10

・修正前（12月計の消費税額が出力されていない）

6年 月 日	(取引科目)	摘 要	取 引 金 額	消 費 税 額	累 計 税 額
1. 1	売 上 高 1	内10	220,000	20,000	20,000
		※※ 1月計 ※※	220,000	20,000	20,000
12. 1	売 上 高 1	内10	330,000		20,000
12. 31	売 上 高 1	内10	440,000		20,000
		※※ 12月計 ※※	0	0	20,000
12. 31	別 記 分	10 積算		50,000	
	売 上 高 1	内10	110,000	10,000	80,000
		※※ 内税計 ※※	110,000	10,000	80,000
		※※ 別記計 ※※	0	50,000	
		※※ 決修月計 ※※	110,000	60,000	80,000

・修正後（12月計の消費税額が正しく出力されている）

6年 月 日	(取引科目)	摘 要	取 引 金 額	消 費 税 額	累 計 税 額
1. 1	売 上 高 1	内10	220,000	20,000	20,000
		※※ 1月計 ※※	220,000	20,000	20,000
12. 1	売 上 高 1	内10	330,000		20,000
12. 31	売 上 高 1	内10	440,000	70,000	90,000
		※※ 12月計 ※※	770,000	70,000	90,000
12. 31	別 記 分	10 積算		50,000	
	売 上 高 1	内10	110,000	10,000	150,000
		※※ 内税計 ※※	110,000	10,000	150,000
		※※ 別記計 ※※	0	50,000	
		※※ 決修月計 ※※	110,000	60,000	150,000

3) 消費税額試算表・集計表・課税売上割合

①下記の条件を全て満たしている場合に、消費税額が2倍または4倍で集計されていたのを、正しく集計するように修正しました。

《条件》

- ・部門入力または枝番入力「行う」
- ・経理方式：一括税抜き（月単位/決算月/決修月）
- ・経理方式：一括税抜き（総額方式）、または、税額計算：割戻し計算の期間が存在する
- ・税額計算混合月が存在、または、締め日が月末締め以外かつ決算期間が令和5年10月1日をまたぐ
- ・税額計算混合月または令和5年10月1日をまたぐ集計月に、部門・枝番の両方が設定されていない仕訳を内税で入力している
- ・部門・枝番が設定された仕訳が存在する
- ・消費税額試算表で「部門」または「枝番」表示をONに設定

- 上記の対応に伴い、以下の条件を満たすマスターでは、一度だけ消費税の再集計を行いデータを修復します。

《条件》

- ・ 合併マスターでない
- ・ 決算確定マスターでない
- ・ 経理方式：一括税抜
- ・ 税額計算混合月が存在、または、締め日が月末締め以外かつ決算期間が令和5年10月1日をまたぐ

- ②下記の条件に該当する際に、固定資産売却益の事業別の税抜金額が表示されていなかったのを修正しました。

《条件》

- ・ マスターの条件
課税方式：簡易課税
経理方式：総額一括税抜（月単位／決算月／決修月いずれでも）
税額計算（売上）：割戻し計算
- ・ 仕訳の条件
(1) 簿価≦対価となる固定資産譲渡仕訳を入力する
(2) (1)の仕訳と同じ税率・売上区分で、税区分が内税または別記の固定資産売却益科目を使用した仕訳を入力する
- ・ 消費税額試算表の条件
税処理区分が既定（一括税抜）
枝番入力を行うマスターで枝番ボタンが表示されている場合は枝番ボタンを押下しない（枝番ボタンが灰色の状態）

V. 表形式 (aPro IIのみ)

1) 全般

- ①高解像度（3840×2160）のモニターで、「マルチウィンドウを有効にする」の設定の場合、ファイル名入力欄や設定欄が伸びて参照・取込・作成ボタンが押しても反応しなくなっていたのを修正しました。

改良・修正

2024年11月11日に提供いたしました、バージョンアップ情報〔財務処理 db〕（Ver.14.202）に一部記載漏れがございました。
内容については以下の通りです。

I. 登録・入力

1) 仕訳入力

①部門入力を行っているマスターにおいて、仕訳検索で「入力漏れ：部門」を検索すると、「諸口」を使用した仕訳が部門を入力していないにも関わらず表示されないケースがあったのを修正しました。

(例) 諸口／雑収入 10,000 部門番号未入力 の仕訳が、
〔F8 仕訳検索〕で「入力漏れ：部門」としても検索結果に表示されませんでした。

06.06				10,000	909内10
	諸	□	雑 収 入		
06.06		0002	0002	10,000	909内10
	車 両 運搬具		当座 預金 1		
06.06		0002	0002	10,000	909内10
	当座 預金 1		雑 収 入		

入力漏れ: 部門

番号	日付	伝票	部門	借方	貸方	金額	税額	消費税	変換
32	06.06		xxxx	諸 □	雑 収 入	10,000		909内10	

②摘要に「軽減 8%」の消費税区分を設定し、その摘要を使用した定型仕訳を書込後、その仕訳を Enter で複写した場合に、複写した仕訳でも同じ摘要を用いているにも関わらず「10%」を表示していたのを修正しました。

(摘要登録)

299	軽減 8 %	ケイサ	軽減 - 8 %
-----	--------	-----	----------

(定型仕訳)

13	交 際 費	現 金			内8軽	軽減 8 %
----	-------	-----	--	--	-----	--------

(定型仕訳書込→Enter で複写)

06.06		交 際 費	現 金	10,000	740	内8軽	軽減 8 %
06.06		交 際 費	現 金	10,000	909	内10	軽減 8 %

上段：定型仕訳を書込
下段：上段の仕訳を Enter で複写

③伝票入力で、仮払消費税等の仕訳をコピーして別行に貼り付け、借方金額欄で Enter を押下すると、消費税が「10」 からその上段の消費税区分に変わっていたのを修正しました。

振替伝票 伝票番号		1 06 月 06 日		諸口貸借		-180,010	
金額	消費税	部門借方	摘要	部門貸方	消費税	金額	金額
30,000	別10	機械装置		当座 預金 1			66,000
3,000	10	仮払 消費税等					
30,000	別10	機械装置					
3,000	別10	仮払 消費税等					

2本目の仕訳を1行コピーして4本目に張り付けたが、Enter押下で消費税が別10になってしまっていました。

④ [F8 仕訳検索] で仕訳番号の右側の欄にカーソルを置き↓ボタンを二回押すと、付箋の画面が表示され、その状態で、何かの動作を行おうとすると不正終了していたのを修正しました。

矢印キーで↓↓とすると付箋を表示

Enter、クリック等で移動しようとするすると不正終了

⑤仕訳（枝番なし）を入力し、[F7 摘要登録] で摘要辞書登録を行うと、貸借双方の科目に『枝番 0000』が自動で入っていたのを修正しました。

(現象発生手順)

1. [F4 入力設定] で摘要登録画面タイプを詳細摘要登録画面に設定
2. [F7 摘要登録] でいずれかを選択して OK を押下
3. 摘要登録画面で「簡易登録[F3]」を押下
4. キャンセル以外の選択を行い入力画面に戻ると貸借ともに枝番 0000 が表示されていました。

2) 残高問い合わせ

①「マルチウィンドウを有効にする」にチェックがある場合の、画面サイズ調整時の動作を改善しました。

- ・全画面化→画面サイズ調整→4分割表示 (Windows マーク+矢印キー) と操作すると、背景グレー部分が広がるだけで文字等のサイズが変わらないのを修正しました。

勘定科目	前月残高	借方発生	貸方発生	当月残高
当座 預金 1	0	0	11,000	-11,000
現金 預金	0	0	11,000	-11,000
仮払 消費税等	0	1,000	0	1,000
流動資産	0	1,000	11,000	-10,000
資産合計	0	1,000	11,000	-10,000
支払手形	0	11,000	0	11,000
流動負債	0	11,000	0	11,000
負債合計	0	11,000	0	11,000
当期純損益	0	0	0	-10,000
繰越利益剰余金合計	0	10,000	0	-10,000
純資産合計	0	10,000	0	-10,000
負債・純資産合計	0	21,000	11,000	-10,000
借 借 料	0	10,000	0	10,000
販売費及び一般管理費	0	10,000	0	10,000
営業利益	0	10,000	0	-10,000
経常利益	0	10,000	0	-10,000
税引前当期純利益	0	10,000	0	-10,000

- ・ 3840×2160 の解像度で画面サイズを調整した時に、文字の拡大縮小が画面サイズに合っていないケースがあったのを修正しました。

※画面を拡大→文字も拡大 といった調整方法だったため、少し画面を大きくしただけで文字が画面と比較して大きくなりすぎるといった現象が起きていました。

・税区分ボタンのサイズ調整に対応しました。

※ご注意

推移貸借／推移損益タブについては従前からサイズ変更をしていないため今回の修正の対象にも含まれていません。
画面サイズの縮小により画面が見切れた場合について、画面の構造上の関係でスクロールバーの設置ができません。ご了承ください。

②推移貸借／推移損益タブについて、部門又は枝番ボタンを押した際に、選択されていたカーソル位置が保持されていなかったのを修正しました。

既定(一括税抜)		税 込	税 抜	込抜混在
部門				
枝番				
残 高	貸 借	損 益	比較残高	比較貸借
比較損益	推移貸借	推移損益		
勘定科目	4月発生	5月発生	6月発生	7月発生
売上高 1	0	0	181,820	
純売上高				
期首商品棚卸高				
仕入高 1				
期末商品棚卸高				
売上原価				
売上総利益				

既定(一括税抜)		税 込	税 抜	込抜混在
部門				
枝番				
残 高	貸 借	損 益	比較残高	比較貸借
比較損益	推移貸借	推移損益		
勘定科目	4月発生	5月発生	6月発生	7月発生
売上高 1				
あああ	-0001	0	0	90,910
いいい	-0002	0	0	90,910
小 計		0	0	181,820
純売上高		0	0	181,820
仕入高 1				
ううう	-0001	0	0	27,273
小 計		0	0	27,273

仕入高 1 にあったカーソルが、売上高 1 に移動してしまう

※画面が切り替わった際、元々カーソルのあった科目に枝番がない場合のカーソル位置は、1 行目となります。

③仕訳入力と残高問合せを行き来すると残高問合せの月指定が正しく保持されないケースがあったのを修正しました。

《詳細》

- ・仕訳入力と残高問い合わせを同時に開いている
 - ・仕訳入力 - [F4 入力設定] - 残高問い合わせへの移行設定を「残高問い合わせの設定期間」に設定
 - ・残高問い合わせ側の月指定で複数月を選択している
 - ・仕訳入力の検索/検索項目タブから残高問合せに移動する
- ※メニューバーから残高問合せを選択するか、ctrl F3 キーで移動すると発生しました。画面下のタスクバーからの移動では問題ありません。



上記すべてを満たす場合に、選択していた複数月の最初の月のみの選択に切り替わっていました。

以上